

第 53 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 53 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 2019 年 9 月 6 日 (金) ～8 日 (日)
- (3) 会 場 熊本市総合体育館
熊本市電 A 系統 「市立体育館前」より徒歩約 10 分
〒862-0941 熊本県熊本市中央区出水 2-7-1
TEL : 096-385-1010
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 熊本県卓球協会
- (6) 後 援 熊本県、熊本県教育委員会、(公財)熊本県体育協会、熊本市、熊本市教育委員会、熊本日日新聞社、
(予定) NHK熊本、(株)熊本放送、熊本県民テレビ、(株)テレビ熊本、熊本朝日放送、
(一財)熊本国際観光コンベンション協会
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。
(ダブルスのスーパーシードは設けない)
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程 9 月 6 日 (金) 9:00～ 開会式
9:30～ 男女ダブルス (1～5 回戦)
男女シングルス (1 回戦の一部)
7 日 (土) 9:00～ 男女シングルス (1～5 回戦)
男女ダブルス (準決勝・決勝)
8 日 (日) 9:00～ 男女シングルス (6 回戦～決勝)
15:00～ 閉会式
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。
③使用球は、J T T A 公認プラスチック球 ; 40 mm ホワイトのみとする。
④同じユニフォームによる対戦をさけるため、2 種類以上のユニフォームを持参すること。
⑤ゼッケンは 2019 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で 2019 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程 (注 1 参照) に定められた有段者であること。
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
③学校教育法第 1 条に規定する学校 (この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。) 及び専修各種学校に在籍する学生及び生徒 (大学院生は除く) は参加できない。
④ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学、専修各種学校において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部~~に~~在籍、及び、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものは参加できる。
⑤本年度の全日本卓球選手権大会 (マスターズの部) への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
⑥各都道府県の代表者選出方法は各加盟団体に一任する。
⑦外国籍選手は日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは、引き続き 10 年以上日本に在住している者は、男女シングルスに出場できる。ダブルス種目については出場資格制限はない。

⑧無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ) 平成30年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女シングルスベスト16の者。
(ロ) 平成30年度全日本卓球選手権大会（一般の部）
男・女シングルスベスト16の者。

◎ダブルスの部

- (イ) 平成30年度全日本社会人卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組。
(ロ) 平成30年度全日本卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組

(12) 参加人員 表1

区 分	種 目 都 道 府 県 名	男 子	女 子	男 子	女 子
		シ ン グ ル ス	シ ン グ ル ス	ダ ブ ル ス	ダ ブ ル ス
1	熊本(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡	10	10	5	5
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	8	8	4	4
3	大阪、兵庫、岡山、長崎	6	6	3	3
4	青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、 長野、富山、石川、三重、岐阜、滋賀、奈良、鳥取、島根、広島、山口、 香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	4	4	2	2
5	宮城、福井、和歌山	2	2	1	1

区分1：開催県及び平成30年度日卓協一般男女選手登録人員上位4加盟団体

区分2：平成30年度日卓協一般男女選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成30年度日卓協一般男女選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：平成30年度日卓協一般男女選手登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

(13) 参加料 シングルス 1名 3,000円

ダブルス 1組 4,000円

(14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて行うものとする。）

※できる限り、下記2ヶ所へEメールでもお申込みください。（メールアドレスは、申込書に記載。）

〔Ⅰ〕 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL：(03) 3481-2371、FAX：(03) 3481-2373

〔Ⅱ〕 〒862-0950 熊本県熊本市水前寺1-15-4 ダイコー水前寺駅通り3（1F）

熊本県卓球協会 宛

TEL：(096) 387-2299 FAX：(096) 387-2301

※前年度ランキング保持者等で無条件出場選手は加盟団体を通じて申し込むこと。また申込書にその旨を明記する事。

*新大会申込システムでのお申込みを推奨します。（2020年度よりシステムでの申込だけとなります。）
システム入力内容をメールまたは郵送、FAXでもそれぞれ（〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕）へお送りください。

(15) 申込締切 ご自身が登録されている各都道府県卓球協会・連盟へお問合せください。

(16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

(17) その他 ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は原則として認めない。

- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。
- ③ 開会式には原則として全員参加すること。
- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。
- ⑦本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

別表 1

第 52 回（平成 30 年度）全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス		女子シングルス	
1	丹羽 孝希 (東京) スヴェンソン	1	平 侑里香 (東京) サンリツ
2	町 飛鳥 (東京) シチズン時計	2	森蘭 美咲 (茨城) 日立化成
3	大矢 英俊 (東京) 東京アート	3	成木 綾海 (広島) 中国電力
4	高木和 卓 (東京) 東京アート	4	森蘭 美月 (東京) 木下グループ
5	上村 慶哉 (東京) シチズン時計	5	田中 千秋 (愛知) 豊田自動織機
6	松平 賢二 (東京) 協和発酵キリン	6	松澤茉里奈 (岐阜) 十六銀行
7	神 巧也 (東京) シチズン時計	7	高橋真梨子 (岐阜) 十六銀行
8	濱川 明史 (徳島) 個人	8	松平 志穂 (兵庫) 日本ベントホールディングス
	高田 直騎 (茨城) 日製日立		前瀧 美音 (静岡) デンソー
	山本 勝也 (東京) リコー		平 真由香 (茨城) 日立化成
ベ	御内健太郎 (東京) シチズン時計	ベ	宋 恵佳 (広島) 中国電力
ス	笠原 弘光 (東京) 協和発酵キリン	ス	前田 美優 (大阪) 日本生命
ト	藤本 海統 (和歌山) 日鉄住金物流株式会社	ト	平野 容子 (愛知) 豊田自動織機
16	徳永 大輝 (鹿児島) 鹿児島相互信用金庫	16	加藤 夏海 (秋田) 秋田県庁
	池田 忠功 (東京) リコー		池上 玲子 (愛媛) 愛媛銀行
	飯野 峻輔 (神奈川) MD相模		三宅菜津美 (広島) 中国電力
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	{ 松下 海輝 (和歌山) 日鉄住金物流株式会社 藤村 友也 (和歌山) 日鉄住金物流株式会社	1	{ 森 美紗樹 (愛知) 豊田自動織機 平野 容子 (愛知) 豊田自動織機
2	{ 鹿屋 良平 (東京) リコー 有延 大夢 (東京) リコー	2	{ 平 侑里香 (東京) サンリツ 松本 優希 (東京) サンリツ
3	{ 松平 賢二 (東京) 協和発酵キリン (株) 平野 友樹 (東京) 協和発酵キリン (株)	3	{ 小道野 結 (静岡) デンソー 永尾 堯子 (静岡) デンソー
4	{ 横山 輝 (広島) 原田鋼業 徳島 剛 (広島) 原田鋼業	4	{ 松澤茉里奈 (岐阜) 十六銀行 高橋真梨子 (岐阜) 十六銀行
5	{ 船本 将志 (東京) 日野自動車 (株) 田中 博己 (東京) 日野自動車 (株)	5	{ 成木 綾海 (広島) 中国電力 井 絢乃 (広島) 中国電力
6	{ 軽部 隆介 (鹿児島) 鹿児島相互信用金庫 徳永 大輝 (鹿児島) 鹿児島相互信用金庫	6	{ 土田 美佳 (広島) 中国電力 宋 恵佳 (広島) 中国電力
7	{ 大矢 英俊 (東京) 東京アート 上江洲光志 (東京) 東京アート	7	{ 鈴木 李茄 (茨城) 日立化成 平 真由香 (茨城) 日立化成
8	{ 下山 優樹 (広島) 原田鋼業 矢野 敬之 (広島) 伊予銀行	8	{ 土井みなみ (広島) 中国電力 庄司 有貴 (広島) 中国電力

平成30年度全日本卓球選手権大会ランキングによる推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東京)	木下グループ	1	伊藤 美誠	(大阪)	スターズSC
2	大島 祐哉	(東京)	木下グループ	2	木原 美悠	(東京)	JOCエリートアカデミー
3	張本 智和	(東京)	JOCエリートアカデミー	3	森 さくら	(大阪)	日本生命
4	木造 勇人	(愛知)	愛知工業大学	4	早田 ひな	(福岡)	日本生命
5	丹羽 孝希	(東京)	スヴェンソン	5	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
6	吉村 真晴	(茨城)	名古屋ダイハツ	6	加藤 美優	(東京)	日本パイントホルディングス
7	町 飛鳥	(東京)	シチズン時計(株)	7	安藤みなみ	(東京)	専修大学
8	田添 響	(東京)	専修大学	8	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
9	龍崎 東寅	(東京)	明治大学	9	梅村 優香	(東京)	中央大学
10	勝田 雅己	(東京)	岡山リベッツ	10	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
11	田添 健汰	(東京)	木下グループ	11	平 侑里香	(東京)	サンリツ
12	宇田 幸矢	(東京)	JOCエリートアカデミー/大原学園	12	木村 光歩	(広島)	中国電力
13	高木和 卓	(東京)	東京アート	13	石川 佳純	(山口)	全農
14	上田 仁	(東京)	岡山リベッツ	14	塩見 真希	(大阪)	四天王寺高校
15	濱川 明史	(徳島)	岩村クラブ	15	出澤 杏佳	(茨城)	大成女子高校
16	定松 祐輔	(和歌山)	日鉄住金物流	16	田中 千秋	(愛知)	豊田自動織機
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{ 木造 勇人 (愛知)			1	{ 早田 ひな (福岡)		日本生命
	{ 張本 智和 (東京)				{ 伊藤 美誠 (大阪)		スターズSC
2	{ 松山 祐季 (愛知)	愛知工業大学		2	{ 芝田 沙季 (大阪)		ミキハウス
	{ 高見 真己 (愛知)	愛知工業大学			{ 大藤 沙月 (大阪)		ミキハウスJSC
3	{ 松下 海輝 (和歌山)	日鉄住金物流		3	{ 平 侑里香 (東京)		サンリツ
	{ 藤村 友也 (和歌山)	日鉄住金物流			{ 松本 優希 (東京)		サンリツ
4	{ 水谷 隼 (東京)	木下グループ		4	{ 佐藤 瞳 (大阪)		ミキハウス
	{ 大島 祐哉 (東京)	木下グループ			{ 橋本帆乃香 (大阪)		ミキハウス
5	{ 鹿屋 良平 (東京)	リコー		5	{ 梅村 優香 (東京)		中央大学
	{ 有延 大夢 (東京)	リコー			{ 塩見 真希 (大阪)		四天王寺高校
6	{ 及川 瑞基 (東京)	専修大学		6	{ 徳永 美子 (東京)		早稲田大学
	{ 三部 航平 (東京)	専修大学			{ 阿部 愛莉 (東京)		早稲田大学
7	{ 松平 健太 (東京)	木下グループ		7	{ 加藤 知秋 (岐阜)		十六銀行
	{ 田添 健汰 (神奈川)	木下グループ			{ 加藤 杏華 (岐阜)		十六銀行
8	{ 吉村 真晴 (茨城)	名古屋ダイハツ		8	{ 成本 綾海 (広島)		中国電力
	{ 坪井 勇磨 (茨城)	筑波大学			{ 井 絢乃 (広島)		中国電力

クラブ委員会推薦 (2019年大会の推薦なし) *教職員大会からの推薦もありません

男子シングルス			女子シングルス		
1	—	()	1	—	()
2	—	()	2	—	()

注1) 段級制規程要約

段位取得について (平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会 (マスターズの部)
 ③全日本選手権大会 (一般・ジュニア) ④全日本選手権大会 (団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権 (マスターズの部) の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約 (平成元年以降)	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3段
(エ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト16入り経験者	4段
(オ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複ベスト4入賞経験者	5段
(カ) 上記①及び③大会 (一般) 単または複の優勝者	6段